

第19回

公認

パラスポーツ指導者 全国研修会

～指導の専門性を高める～

開催日時 令和6年

12/14(土) → 12/15(日)

[13:00～17:00]

[9:00～12:15]

パラスポーツを通して 活力ある共生社会の実現を!

会場

東京都障害者総合スポーツセンター
(東京都北区十条台1-2-2)

- ◎当事者と交流しながら実践の場で学びたい!
- ◎スポーツ現場で活用できるスキルを身につけたい!
- ◎全国の指導者同士の交流を深めたい!

など、指導者として今後の活動につなげていただくことを
目的とした研修会です。是非、皆様のご参加をお待ちしております。



分科会

12月14日(土) 13:45～16:45 / 12月15日(日) 9:00～12:00 ※参加したい分科会を1日につき1つお選びください。

第1分科会

共に学ぼう!安全に楽しくできる スポーツ場面づくり

～多種多様な障がいのある方々とのスポーツ交流を通じて～

講師：屋敷 可奈恵 氏

●公益社団法人東京都障害者スポーツ協会



第4分科会

東京消防庁救急隊長経験者から 「スポーツ現場での事故事例と 応急手当を学ぶ」

講師：内田 元高 氏

●国士館大学体育学部スポーツ医科学科 准教授
●元東京消防庁消防署長



第2分科会

パラスポーツ指導員も知っておきたい スポーツ外傷・障害の基礎と予防策

講師：浦川 宰 氏

●埼玉医科大学病院 理学療法士
●パラスポーツ指導者協議会トレーナー部会(関東代表)



第5分科会

インクルーシブな体育・ スポーツ活動の先端事例と課題

講師：安井 友康 氏

●北海道教育大学札幌校
教員養成課程 特別支援教育専攻 教授



第3分科会

肢体不自由者のスポーツ指導方法

～脳原性麻痺者の転倒場面をリスクマネジメントと
トレーナビリティの視点から考える～

講師：佐藤 敬広 氏

●東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授
●公益財団法人日本パラスポーツ協会 技術委員会



第6分科会

関東ブロックからの情報発信 「最重度の障がい児・者のスポーツ」

～学校体育から生涯スポーツへ～

講師：山田 晴信 氏

●日本ハンドサッカー協会 事務局長
●東京都立光明学園 主任教諭



主催：公益財団法人日本パラスポーツ協会 後援：東京都 主管：第19回公認パラスポーツ指導者全国研修会実行委員会
協力：障がい者スポーツ指導者協議会関東ブロック／公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
東京都障害者総合スポーツセンター／東京都パラスポーツ指導者協議会

プログラムのご紹介

日程

1日目 令和6年12月14日(土)		2日目 令和6年12月15日(日)	
受付	12:30~13:00	受付	8:45~9:00
開会式	13:00~13:30	分科会	9:00~12:00
分科会	13:45~16:45	閉会式	12:05~12:15

研修会1日目終了後、参加者間の交流を目的とした懇親会を企画しております。詳細は、参加決定の際に改めてご案内させていただきます。

分科会 12月14日(土) 13:45~16:45 / 12月15日(日) 9:00~12:00

第1分科会

共に学ぼう!安全に楽しくできる スポーツ場面づくり

~多種多様な障がいのある方々とのスポーツ交流を通じて~

講師：屋敷 可奈恵 氏

●公益社団法人東京障がい者スポーツ協会
スポーツ振興部 地域スポーツ振興課 係長

日頃から多種多様な障がいのある方々が、様々なスポーツ活動をしている障がい者専用スポーツ施設のスタッフと共に、障がいの種類や程度に応じたスポーツ指導法と留意点について、座学と障がい者とのコミュニケーションを通じて学びます。また、障がい者にも参加していただき、受講生と一緒に運動・スポーツ・レクリエーション・身体活動を安心・安全に、そして楽しく行う上でのポイントを実技・演習を通じてお伝えします。

第2分科会

パラスポーツ指導員も知っておきたい スポーツ外傷・障害の基礎と予防策

講師：浦川 宰 氏

●埼玉医科大学病院 理学療法士

怪我をしてしまったらスポーツは楽しめません。スポーツの怪我(スポーツ外傷・障害)は、適切な姿勢や動きを知ることである程度防ぐことができます。この分科会では、スポーツ外傷・障害の基礎知識を学び、実際に姿勢や動作のチェック方法などについて実技を交えて学びます。またパラスポーツでは、背景障がいによっても発生しやすいスポーツ外傷・障害の特徴がありますので、これを考慮した指導方法についても考えていきましょう。

第3分科会

肢体不自由者のスポーツ指導方法

~脳原性麻痺者の転倒場面をリスクマネジメントと
トレーナビリティーの視点から考える~

講師：佐藤 敬広 氏

●東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授
●公益財団法人日本パラスポーツ協会 技術委員会

障がい者にスポーツを指導・支援する際に起こり得る「転倒」。その背景には様々な要因が考えられます。「転倒」はリスクが伴う一方で、楽しく一生懸命に取り組もうとするが故に起こり得る事象の一つでもあります。本分科会では、グループワークと簡単な実技を通じて、脳原性麻痺者に起こり得る転倒場面について、様々なケースを想定しながらリスクマネジメント(危機管理)とトレーナビリティー(能力の向上)の両面から考えます。

第4分科会

東京消防庁救急隊長経験者から 「スポーツ現場での事故事例と 応急手当を学ぶ」

講師：内田 元高 氏

●国士館大学体育学部スポーツ医科学科 准教授

パラスポーツ現場で多い事故事例を中心に、転倒・骨折・頭部打撲の外傷、てんかん発作、意識レベルの低下など、救急活動の現場経験豊富な講師から、公認パラスポーツ指導員として必要な事故防止の安全管理や迅速・的確な応急手当の重要性など、実践力を高める講義と実技を学びます。特に、一生に一度しかないかもしれない救急要請に戸惑いがちな現場での対応ポイント、知識・技術を身につけることを目標にします。

第5分科会

インクルーシブな体育・ スポーツ活動の先端事例と課題

発表者：安井 友康 氏

●北海道教育大学札幌校
教員養成課程 特別支援教育専攻 教授

日本におけるインクルーシブな活動に関する実際の様子とともに、障がい者のスポーツ活動が盛んなドイツの取り組み事例などについて映像を含めて紹介します。事例を通して活動における工夫点などをワークショップ形式で学ぶと共に、インクルーシブなスポーツ活動を企画したり実施したりする際の、留意点や活動の展開方法などについて考えます。

第6分科会

関東ブロックからの情報発信 最重度の障がい児・者のスポーツ

~学校体育から生涯スポーツへ~

講師：山田 晴信 氏

●日本ハンドサッカー協会

東京都では、肢体不自由特別支援学校の生徒と教員が体育の授業実践を通して創りあげた「ハンドサッカー」という競技が盛んにおこなわれています。立位の生徒から医療的ケアのある最重度の生徒まで、同じフィールドで競い合う集団球技という特徴があります。「ハンドサッカー」の意義やルールの説明(実技含む)から、生涯スポーツとしての展開まで、ハンドサッカームーブメントをご紹介します。

申込方法

参加申込フォームにて、お申込みを受け付けます。
携帯電話の二次元バーコード読み取り機能を利用して、アクセスすることができます。

URL:<https://forms.office.com/r/2tAvT4qLnY>

申込期間

令和6年9月20日(金)~10月25日(金)

受講料

3,000円(JPSA公認パラスポーツ指導者 有資格者)

受講料は、受講区分により異なります。詳細は開催要項をご確認ください。
参加決定後、支払先をご案内いたしますので、指定された期限までにお支払いを完了してください。

※手数料は自己負担となります。



お申込みはこちらから



詳しくはこちらから

問い合わせ

公益財団法人日本パラスポーツ協会
スポーツ推進部 小島・富永

TEL:03-5695-5420

FAX:03-5641-1213

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6